

第 369 回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 2020 年 6 月 22 日（月）午前 11 時より
- 2 開催場所 テレビ新潟本社
- 3 委員総数 8 人 出席委員 8 人

出席委員

若杉 隆平	委員長	田村 明子	副委員長
飯塚 智	委員	増満 浩志	委員
野内 隆裕	委員	大久保 千春	委員
柳川 かおり	委員	本宮 宏美	委員

会社側出席者

代表取締役社長	務台 昭彦
取締役放送本部長兼編成局長	稲田 裕之
取締役報道制作局長	寺内 邦彦
報道制作局制作部長	竹野 和治
番組プロデューサー	道場 拓哉
事務局	安部 貴俊 小野塚由起子
	吉田 康宏

## 4 議 題

### 1) 番組合評

「夕方ワイド新潟一番 特集 #負けない！ニイガタ」

[放送：2020年5月 15:48-16:50]

(説明：番組プロデューサー 道場 拓哉)

### 2) 会社報告

①5月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

②講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

### 3) その他

## 5 審議の概要

会社側からは、「テレビ新潟では、新型コロナウイルスにより、当たり前だった日常を当たり前を過ごせなくなっている今、それでも頑張っている人、大切なものを守るために新しく始めたことなど新潟に明るい希望を与える「負けない！」取り組みを県民の皆さまに紹介する「#負けない！ニイガタ」キャンペーンを4月より実施してきました。今回はその根幹として「夕方ワイド新潟一番」の特集コーナーで5月末まで毎日違う「負けない！」取り組みをしている、企業や人々の活動を紹介し放送した一部を抜粋させて頂いた番組となります」という趣旨の説明があった。

(委員の意見)

- ポジティブな内容だった。
- 出演者が自らの言葉でいいコメント発しているのが良かった。
- コロナ禍での記録としての価値もあった。

- 人の思い、プロの心意気、行動する力に感銘を受けた。
- 「負けない！」という言葉が皆さんの活動に当てはまっているのか。言葉の捉え方で言うと勝負と重なってくるので様々な環境の方々の事を考えると、もう少し優しいキャッチがあったのではないかな。
- 「負けない！」の言葉のチョイスの難しさを感じた。
- 日常を回すとはどういうことか改めて認識した。
- タイムリーな企画だと思った。
- テロップ、タイトル等の文字情報が多くて気になった。
- キャンペーンとしてテレビ、CM、Webの連動した企画が良かった。
- 中長期的な視点で今後も掘り下げた取材してもらいたい。
- コロナ禍でも人のつながり等プラスの事もあると気付かされた。
- コンパクトでもメッセージは伝わってきた。
- 当たり前の日常を回している人たちも取り上げればよいと思った。
- 新潟の医療現場の中で頑張っている方の姿もいつか見たい。
- 女性の活躍を紹介しているものをもっと見たかった。
- テロップが正しい日本語になっていなかった部分があった。
- 今回の番組はお互いの助け合いの取り組みを取り上げたことが新鮮だった
- 有意義な企画、番組なのでこれからも続けてほしい。
- 様々な取り組みがみられ、大上段に構えていない番組だと思った。

## 6 会社側の報告

### 1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

5月…… 136件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(2020年5月25日)から、昨日(2020年6月21日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第368回審議会では、

「桜SOS ～フードバンクと令和の貧困～」

を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第369回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第368回番組審議会議事録
- ・5月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・民間放送新聞(5/27, 6/10)
- ・BPO冊子(N0, 213)

以上